23前期_英語系1年_業界研究Ⅰ_EF1_下田祐介.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
社会人として将来、どのような仕事があり、学んでいることとどのように結びつくかを知ることは、授業への動機づけだけではなく、仕事への夢が形になって現実化できる一歩である。ここでは、業界からのメッセージを聞く機会を増やし、学生のモチベーションを上げることをねらいとする。	使用テキスト:キャリアガイドブック。プリント配布。専用ノートを作り、授業や講演会で指示がなくても今後の就職活動メモをとって情報を整理していくこと。ファイリングも社会人として大切なスキルなので普段から配布物は整理して保管していくこと。	語学力が活かせる業界を多方面にわたって学び、視野を広げながら就職活動の準備ができるようにする。実際に企業の講演を定期的に聴講することで、緊張感を持ちながら準備を行う。一般常識やSPIに必要な学習も行う。学校からの連絡も行う。	【専門知識スキル】:就職活動の準備に必要な知識を身につける。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、柔軟性等(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。ディスカッションを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、就職活動について自らの問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料配布は授業内とする。講演会ではメモを取る習慣をつける。【評価の観点】:就職希望者は業界への理解が深められているか。就職試験対策が行えるか。メモがとれるか。非就職者は留学など卒業後の進路を真剣に考えているか 【その他】:グループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:基本的マナーを含む各講の授業態度 30%　レポート提出　30%　メール送受信や電話応答20%　ノート作成・スケジュール管理20%（必要出席率は学内ルールに沿う）進捗状況によって内容を変更する場合がある。オンライン授業に変更する場合がある。就職関連講演会ではスーツ着用が求められる。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)　(2) 各業界の紹介1　(3)学生生活におけるメール確認や電話応対の重要性について (4) SNS利用時の注意事項と就職活動への影響について	(1)いろいろな業界について知る。(2)就職活動の準備として新聞記事を読む必要性について (3)通常時の連絡網として必要なアドレスの確認、各講座へ提出課題を送信する場合の心がけについて	(1)就職活動をする準備として、業界や自分自身を知る必要性がわかるようになる。(2)メール確認や電話応対の重要性がわかるようになる。(3)特に、オンライン授業の受講の仕方と就活準備についての関係がわかるよ	傾聴力	【授業運営方法】:アクティブラーニングを原則とする。 小テストで理解度や授業態度チェックができるようにする。【持参物】メモを取る癖をつける為に筆記用具ノートは必須である。講演を聴講する際はスーツ着用が原則である。	課題提出は期限厳守。テストは予告する場合と抜き打ちの場合がある。	
2	各業界の紹介2	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(漢字)	ヒントをもらいながら、各業界について調べ、発表することで今まで未知の業界について学ぶことができ、就職活動の準備とすることができる。	主体性、働きかけ力、ストレスコントロール力	グループワーク	〃	
3	各業界の紹介3	〃	〃	〃	〃	〃	
4	各業界の紹介4	〃	〃	〃	〃	〃	
5	講演会1	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモがとれるようになる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
6	各業界の紹介5	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(非言語)	講演会を聴く前提として知っておくべき知識を身につけることができる。	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	〃	
7	講演会2	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモが自然にとれるようになる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	

8	各業界の紹介6	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(非言語)	講演会を聴く前提として知っておくべき知識を身につけることができる。	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	〃	
9	講演会3	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、メモが自然にとれるようになる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
10	各業界の紹介7	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(非言語)	講演会を聴く前提として知っておくべき知識を身につけることができる。さらに他業界とのつながりも考えることができるようになる。	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	〃	
11	講演会4	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、自然にメモがとれ、質問や疑問点を見つけることができるようになる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
12	各業界の紹介8	(1)特定の業界について詳しく調べる。(2)一般常識対策(非言語)	講演会を聴く前提として知っておくべき知識を身につけることができる。さらに他業界とのつながりも考えることができるようになる。	主体性、働きかけ力、計画性	グループワーク	〃	
13	講演会5	(1)講演会を聴いて、その業界の知識を深める。(2)まとめの課題	講演を聴講し、自然にメモがとれ、質問や疑問点を見つけることができるようになる。	傾聴力	個人作業とペアワーク等	〃	
14	業界のまとめ	各業界の特徴を整理する。	自分に合った進路、適性を総合的に考えられる姿勢を身につける。	課題発見力	個人作業とペアワーク等	〃	
15	期末課題と解説	業界全体の理解を深める。	各業界を復習し、後期以降の就職活動準備に必要な知識が得られる。	課題発見力			

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
「なぜ就職するのか？」、「会社に入ってから何をするのか？」、「何がさせてもらえるのか？」などを基本として、就職先を自ら見出すための実力を身につけることができる。先輩卒業生就職先の中から2-3社自分にあった企業をピックアップして模擬的に就職試験対応を行う事で経験を積む。それぞれに対応した履歴書、ESなどを作成、模擬試験、面接練習も行うこ	配布資料(オンライン授業の場合：画面上の資料)	《実務経験のある教員による授業科目》旅行業界での勤務経験のある教員が担当。「会社に選ばれる」のではなく「会社を選ぶ」ことができるように就職活動時に身に着けておいたほうが良い基本的な知識を習得する。	**【専門知識スキル】**：業務、勤務、実務など基礎知識が習得できた後、社会人としてどう利用したら良いかが理解できるようになる。 **【社会人基礎力】**：主体性、働きかけ力、計画力。（詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照）。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	**【受講ルール等】**：資料配布（閲覧）は授業開始時とする。 課題の提出は終了時とする。 **【評価の観点】**：・説明を理解できているか。・質問に対して適切に回答することができているか。・協力して作業することができているか。 **【評価項目（評価の方法）】**：受講時の理解度－10%、質問への回答－20%、小テスト－30%、期末テスト－40%。 なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【その他】対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の

実施回	テーマ	内容（詳細）	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ（任意）
1	科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明（30分） 、会社の組織について	・企業の組織を知ることにより社会の成り立ちを理解する	社会での基礎知識を理解することにより自身から踏み出すことができるようになる	働きかけ力	【授業運営方法】：質問をしながら進める。基本的な考え方については配布（閲覧）資料で行う。資料に記入することで理解度チェックができるようにする。		
2	企業研究	・企業の成り立ちを学ぶ	・企業とは、企業で働くことはを理解する	主体性	同上		
3	就職先選定Ⅰ	・業界の基礎知識、ランキング、その将来性などを踏まえて学ぶ	・企業の将来性、個々への適性を判断し自らの方向性を見極める	同上	同上		
4	就職先選定Ⅱ	過去5年間に遡って先輩の就職先に絞り込んで研究する	・先輩の就活アンケートを元に理解を深められる	同上	同上		
5	地場産業研究	・愛知、岐阜、三重に本社を置く企業研究	・身近な企業をターゲット化して分析する	同上	同上		
6	履歴書作成Ⅰ	・履歴書の書き方を学ぶ	・就職活動に必要な知識を学ぶことができる	同上	同上		
7	履歴書作成Ⅱ	・履歴書の添削、読んでもらえる履歴書を作成するための知識を学ぶ	・どの点を強調することで目に留まるかを理解できる	同上	同上		
8	エントリーシート作成Ⅰ	・エントリーシートの作成を学ぶ	・基本的な考え方及び作成の仕方を学ぶ	同上	同上		
9	エントリーシート作成Ⅱ	・エントリーシートの添削、読んでもらえるエントリーシートを作成する知識を学ぶ	・見てもらえることを意識したES作成ができるようになる	同上	同上		
10	業界別過去問Ⅰ	・一般企業（製造業、金融業、商社など）	・それぞれの業態に合わせた対応力を身につけることができる	主体性、対応力	同上		

11	業界別過去問Ⅱ	・観光企業(物流業、サービス業など)	同上	同上	同上		
12	業界別過去問Ⅲ	・外資系、その他企業	・外国語の知識を生かすことができる	同上	同上		
13	面接練習Ⅰ	・集団面接	・面接に臨む第一ステップを理解できる	同上	同上		
14	面接練習Ⅱ	・個人面接	・応用・発展させることができる	同上	同上		
15	まとめ(試験を含む)	小論文の作成を学ぶ	将来就職試験で直面する課題をあらかじめ習得する	主体性	同上		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
TOEICテストとは Test of English for International Communicationの略称で、英語でのコミュニケーション能力を幅広く評価するテストである。　本科目では、このテストの対策をテキストを使用し、7つで構成される各パートを熟知し、より高い点数を目指す。	ILLUMINATING THE PATH TO THE TOEIC L&Rおよびプリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を中心にTOEICテストの特徴を学び学習法を習得する。単語表を利用してTOEICに必要なボキャブラリーを増強する。当授業では文法項目別に、各パートを学習できるようにする。 様々な場面についての基礎を学び表現が実用レベルで使えるようにする。また、リスニングについてはまんべんなく実用レベルで活用できるようにする。	【専門知識スキル】:TOEICのノウハウを知ることができる。 リスニング形式が熟知できる。 反復練習をして会話に応用することができる。 ボキャブラリーを使った作文ができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力などを身につける。アクティブラーニングを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料の配布は授業内とする。課題の提出は期限内とする。【評価の観点】:各パートの特徴が把握できているか。・毎授業真剣に取り組みができているか。・理解度が上っているか。【その他】:3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点－ 30%、課題－30%、検定受験(期末テストの代わり)－40%　なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	授業の進め方の説明30分、注意事項、TOEIC Testの内容説明	Unit 1 Traveling Part1　Part 5	写真問題の攻略法	旅行	【授業運営方法】:教科書は学生の理解度を確認しながら進める。 リスニングについてはCDで行う。 小テストで理解度チェックができるようにする。		
2	旅行	Unit 1　Part 2　Part 7	自動詞と他動詞の違いを認識する	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	ボキャブラリーチェック	
3	日常生活と買い物	Unit 2　Part 1　Part 5	呼応を理解する	〃	〃		
4	〃	Unit 2　Part 3　Part 7	設問を先読みする		〃	ボキャブラリーチェック	
5	レストランにて	Unit 3　Part 1　Part 5	メッセージの目的を聞き取る	考える力	〃		
6	〃	Unit 3　Part 4　Part 7	スキャニングを身に付ける	深掘りする力	〃	ボキャブラリーチェック	
7	求職	Unit 4 Part1　Part 5	修飾を理解する	課題を発見する力	〃		

8	〃	Unit 4 Part 2 Part 7	ダブルパッセージを攻略する	状況を判断する力	〃	ボキャブラリーチェック	
9	オフィスで 1	Unit 5 Part 1 Part 5	オフィスでの頻出表現をおさえる	状況に適応する力	〃		
10	〃	Unit 5 Part 3 Part 7	空所の前後のヒントを探す	書いてまとめる力	〃	ボキャブラリーチェック	
11	オフィスで 2	Unit 6 Part 1 Part 5	名詞の可算、不可算名詞の区別	疑問を持って調べる力	〃		
12	〃	Unit 6 Part 4 Part 7	状況を読み取る	整理する力	〃	ボキャブラリーチェック	
13	Review Test	Part 1 2 Part 5 6	各ユニットの重要項目確認	復習する力	〃		
14	〃	Part 3 4 Part 7	不得意分野の強化	考える力	〃	ボキャブラリーチェック	
15	まとめと復習	実践問題に挑戦	TOEIC Test の全体の流れを掴む	まとめる力	〃		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
TOEICテストとは Test of English for International Communicationの略称で、英語でのコミュニケーション能力を幅広く評価するテストである。1年生で学んだ　TOEIC対策のことを踏まえさらに、　本科目では、このテストの対策をテキストを使用し、7つで構成される各パートを熟知し、より高い点数を目指す。　。	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470およびプリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を中心にTOEICテストの特徴を学び学習法を習得する。単語表を利用してTOEICに必要なボキャブラリーを増強する。当授業では文法項目別に、各パートを学習できるようにする。　様々な場面についての基礎を学び表現が実用レベルで使えるようにする。また、リスニングについてはまんべんなく実用レベルで活用できるようにする。	**【専門知識スキル】**:TOEICのノウハウを知ることができる。　リスニング形式が熟知できる。　反復練習をして会話に応用することができる。　ボキャブラリーを使った作文ができる。**【社会人基礎力】**:主体性、働きかけ力、実行力などを身につける。アクティブラーニングを通して、主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	**【受講ルール等】**:資料の配布は授業内とする。課題の提出は期限内とする。　**【評価の観点】**:各パートの特徴が把握できているか。・毎授業真剣に取り組みができているか。・理解度が上っているか。　**【その他】**:3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点－ 30%、課題－30%、検定受験(期末テストの代わり)－40%　なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容の変更の可能性があります

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	授業の進め方の説明30分、注意事項、TOEIC TESTの内容確認、及びPre-Test	Pre-Testを行い各パートの内容確認	自分の不得意パートを認識できるようになる	疑問を持って調べる力	【授業運営方法】:講義後、個別に演習問題に取り組む。ペアまたはグループで音読や学び合いを行う。		
2	Unit 1　予定	動詞＋5文型	写真問の理解ができるようになる。文法問題のパターンが理解できるようになる。	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:アクティブラーニング		
3	〃	自動詞、他動詞及びThereの構文	予定表現が出来るようになる	整理する力	〃		
4	Unit 2　数量を訪ねる	名詞の種類	数えられる名詞と数えられない名詞の区別を学べる	推測する力	〃		
5	〃	数量を尋ねる基本表現	数量を尋ねることができる	復習力	〃		
6	Unit　3　命令依頼	命令形の作り方	様々な命令形を区別することができる	深掘りする力	〃		
7	〃	形容詞と副詞	2つの品詞の区別の仕方を学ぶ	疑問を持って調べる力	〃		

8	Unit 4 広告宣伝	広告・宣伝に関する語句・表現を覚える	広告の特徴を学ぶ	状況を判断する力	〃		
9	〃	フレーズリーディング	スキャニングの仕方を学ぶ	状況に適応する力	〃		
10	Unit 5 時間を尋ねる	時間を尋ねる表現	様々な時間表現を学ぶ	整理する力	〃		
11	〃	動名詞	動名詞を伴う動詞を知る	結果を予測する力	〃		
12	Unit 6 場所を尋ねる	場所を尋ねる表現	場所によって使われ方の違う前置詞を区別する	書いてまとめる力	〃		
13	〃	動名詞・不定詞を学ぶ	スキャニング力を増強できる	書いてまとめる力	〃		
14	復讐テスト	Unit 1 ～6の復習	自分の弱点を見つける	考える力	〃		
15	TOEIC標準問題	リスニング及びリーディング問題を解く	標準問題にチャレンジする	挑戦すること	〃		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
社会人として、将来どのような仕事につけるか、どのような業界で活躍できるかを判断できるようになる。本講座では前期に学んできたことを踏まえて、卒業後の進路に必要な知識や情報を身につけていくことができる。	配布(閲覧)資料	《実務経験のある教員による授業科目》旅行業界での勤務経験のある教員が担当。本講では就職活動の仕方を学ぶことにより最も自分に合った就職先を選定できるようになる。アクティブラーニングを活用し対外的にもアピールできる知識を身につけることができる。	【専門知識スキル】:商品開発及びプレゼンテーションの分野での基礎知識が習得できる**【社会人基礎力】**:主体性、働きかけ力、計画力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	**【受講ルール等】**:資料配布は授業開始時とする。課題の提出は終了時とする。 **【評価の観点】**:・説明を理解できているか。・質問に対して適切に回答することができているか。・協力して作業することができているか。 **【評価項目(評価の方法)】**受講時の理解度－10%、質問への回答－20%、小テスト—30%期末テスト－40%. なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【その他】対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)(2)業界で求められている力とは	・今後の就職活動に対しての準備方法を知る	・就職活動を行う時に何が必要か？気をつけなくてはならない注意点などを理解できるようになる。	主体性	【授業運営方法】:質問に回答しながら進める。基本的な考え方については配布資料で行う。資料に記入することで理解度チェックができるようにする。		
2	就職活動Ⅰ	・卒業生の就職先の検証	・過去の事例に学ぶ。自分たちの進むべき道を決める	主体性、計画性	同上		
3	同上Ⅱ	・今年の傾向と行事予定の把握	・どのような傾向か？今後のスケジュールを検討する	同上	同上		
4	同上Ⅲ	・内定取得までの予定表を作成する	・資料収集などを経て受験先(5社)しグループで検証する	主体性、働きかけ力	アクティブラーニング		
5	履歴書作成Ⅰ	・履歴書の書き方	・応募先を想定して履歴書を完成する	主体性、計画性	質問に回答しながら進める。		
6	履歴書Ⅱ	・履歴書を提出する	・応募先への提出方法を学ぶ	同上	同上		
7	エントリーシートⅠ	・エントリーシート作成	・良い例、悪い例を学びながら適切な書類を作成する	同上	同上		
8	エントリーシートⅡ	・エントリーシート完成	・相互に確認し合い、より良いものを完成させる	主体性、働きかけ力	アクティブラーニング		
9	合同企業展への取り組み	・合同企業展参加企業の内自分が参加する企業を決定	・それぞれの企業研究と質問内容確認	主体性、計画性	質問に回答しながら進める。		
10	合同企業展での結果と反省	・合同企業展に参加しての手ごたえ確認	・結果を踏まえて今後を検証	同上	同上		

11	就職面接への準備Ⅰ	・面接官のあるある	・それぞれの現場での実例学ぶ	同上	同上		
12	同上Ⅱ	・面接練習	・実例をもとにシミュレーションする	同上	同上		
13	儲かる業界	・業界の現状と問題点	・業界を理解する	同上	同上		
14	卒業後、就職後の問題	・卒業後、就職後の問題点を事例ごとに検証する	将来直面するであろう課題などをあらかじめ学ぶ	同上	同上		
15	まとめ(期末試験を含む)	・今後の就職活動に対しての準備方法を知る	・学校休みの機関にやるべきことを確認する	同上	同上		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
志望する業界・職種・企業を意識した就職活動が行えるよう、事前準備を行い、主体的にスムーズに移行できるようにする。	(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』	《実務経験のある教員による授業科目》企業で人事・採用を経験した教員が担当。就職活動の流れ、傾向、身だしなみ、マナー、ESや履歴書の考え方・書き方、面接の形式と模擬面接の実施を行う。企業が求める人材を意識しながら習得する。	**【専門知識スキル】**:1. 学校で培った専門性や自分の理想像が何か知る。その上でそれを生かした企業や職種への就活を行う。 2. 近年の就職スケジュールと傾向を理解し、活動時期と企業が求める人材を理解する。 3. 面接の基本動作ができる。 4. 今後始まる就職活動を、主体的にスムーズに移行できるようにする。**【社会人基礎力】**:社会人基礎力を身につけることが、企業が求める人物像であることを理解する。就職を研究することで、自身が求められる人材になるために必要な要素や能力を考えることで身に付ける。	**【受講ルール等】**:(1)使用テキスとワークブック、配布プリントは必ず持参する。(2)課題の提出期限は原則として授業時間内であり、積極的に取り組み、期限を守ること。授業時間内に提出できない場合は、講師の指示に従うこと。**【評価項目(評価の方法)】**:(1)授業への取り組み姿勢(授業内課題、配付資料の理解度)…40% (2)課題の提出及び提出物の内容の充実度・完成度の評価…40%、(3)模擬面接やグループディスカッションの評価…20%、以上の(1)(2)(3)をもとに、欠席/遅刻/早退の状況や態度(含身だしなみ)不可のものをマイナス評価したうえで、最終的にABCF評価。 **【その他】**:**対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。進捗状況により内容変更の可能性があります。**

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) 前期の復習と後期の課題	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明 (2)9月以降にすべきこと、注意点	科目の狙い、評価基準、秋から春にかけて、就職活動の動向と、前期授業の繋げ方が理解できる	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		
2	(1)就職活動の流れ (2)就職活動のルールと諸注意 (3)就活サイト登録とキャリアセンターの利用(4)履歴書用写真とメイク、髪型、身だしなみ	募集のタイミングを逃さない就職活動と準備。内定・内定辞退・内定承諾。キャリアセンターの活用方法。履歴書写真のポイントと業界による身だしなみの違い。	就職活動の全体的な流れをつかみ、自身の就活スケジュールへ落とし込むことができる。	主体性、働きかけ力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P10・P11
3	(1)自己分析で考えるポイント (2)自己紹介・自己PRの作り方 (3)自己PRの作成	就職活動における自己PRの重要性。自己分析と自己PR。採用側視点に立った自己PRのポイント。	自己分析や他者からの評価により、自分自身を理解し、長所短所、アピールポイントを整理する。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、柔軟性	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P6からP8 P64からP67
4	自己紹介・自己PRの作成2	就職活動における自己PRの重要性。自己分析と自己PR。採用側視点に立った自己PRのポイント。	自己分析や他者からの評価により、自分自身を理解し、長所短所、アピールポイントを整理する。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、柔軟性	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		
5	(1)ガクチカで考えるポイント (2)ガクチカの作り方 (3)ガクチカの作成	就職活動におけるガクチカの重要性。採用側視点に立ったガクチカのポイント。	職種特性・企業が求める人材を理解し、自己分析からガクチカが作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		
6	志望業界・企業・職種	自己分析をもとに、志望業界や企業・職種を探す	企業選びに必要な要素を意識し、就職活動へ繋げられる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		

7	(1)志望動機で考えるポイント(2)志望動機の作りかた(3)志望動機の作成1	志望動機とは何か。志望動機の作り方。志望動機の構成要素。	企業特性や求める人材・空港特性を理解し、志望する根拠が何かポイントを理解し作成できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P68からP73
8	(1)履歴書の書き方 (2)エントリーシートの書き方	履歴書記入時のポイント、注意点について。ESとは。ESと履歴書の違い。ESの実例。ESでは何が見られるか？ESの質問例。ES記入上のポイント。	就職活動の本番で応募書類として適用する水準の履歴書(基本型)が作成できる。採用側の狙いを含め理解するとともに、印象的で分かりやすいESの作成を行えるようにする。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P74
9	エントリーシートの作成1	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		
10	エントリーシートの作成2	志望企業または任意企業の過去エントリーシートを作成する	企業が求める人材を理解し、見やすさ・分かりやすさ・一貫性・評価される内容が理解できる。	主体性、実行力、課題発見力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント	履歴書・エントリーシートの提出	
11	(1)情報収集のポイント (2)キャリアセンターや就職情報サイトの利用 (3)求人票の見方 (4)企業訪問時のマナーと身だしなみ	就職活動の情報源。企業研究シート作成の方法。情報の活用方法。各種状況に応じたマナーと身だしなみ。	情報の収集方法とまとめ方、活用方法が理解できる。社会人として求められる身だしなみとマナーを習得する。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、状況把握力、規律性	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P80からP89電話・メールマナー
12	(1)面接試験の形式 (2)面接のポイントと注意点 (3)面接でよくある質問事項1(4)WEB面接の注意点とポイント	面接形式の種類と特徴。面接で評価されるポイント。一般的な質問例。	面接の形式や質問内容は、すべて企業側の意図があることを理解し、それを踏まえた回答を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		P50から55 P88からP96 結論ファースト P106からP108
13	面接でよくある質問事項2	一般的な質問例と回答例。	面接の形式や質問内容は、すべて企業側の意図があることを理解し、擦れを踏まえた回答を考えることができる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント	質問回答の提出	
14	面接練習	グループディスカッション	性格や価値観、リーダーシップ能力論理的思考力、協調性、コミュニケーション能力などを意識し、実践できる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		
15	面接練習	入退室の方法、お辞儀、着席、姿勢などの立ち居振る舞いについて。模擬面接(グループまたは個人)	グループ面接などの人数が多い場合も含めた、入退室の方法や、着席時の注意点、話し方などの面接時の見た目について理解できる。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、ストレスコントロール力	【持参物】:(1)『これだけは知っておきたい!面接対策&ビジネスマナー』(2)『2022 TRIDENT Career Guide Book』および配布プリント		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
英語の総合的なコミュニケーション能力を判定する基準として、広く認知されてきたTOEICは、将来の仕事の上でも、自身の英語力に磨きをかける上でも、そのスコアは大きな影響を持つ場合が多い。テストで必要とされるビジネス知識を含め、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、出題形式に沿った実践的なトレーニングを行うことで、英語運用能力の向上を図る。1年次には主に各パートごとの対策に重点を置き、語いの強化と基礎文法力の強化を第1目標とする。	Preparation Series for the TOEIC Advanced 6th Ed.	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。教科書を用いて、TOEICテスト形式を理解したうえで、問題演習を行う。基本的なビジネスシーンでよく使われる英語表現の学習やグループワークによる問題演習を行った後、限られた時間内でTOEICの各パート問題を各自で素早く正確に解くことができるよう、毎回の授業でトレーニングを行っていく。	【専門知識スキル】:英文法、ビジネス英語会話や説明文のリスニング力、ビジネス文書読解力、語彙力 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】:授業では可能な限りPCを活用して、グループワークを行うため、PCを持参のこと。教科書を忘れた場合は、必ず授業前にコピーを取り、受講に支障のない状態にすること。【評価の観点】:授業への出席、授業態度、グループワークへの積極性や達成度、授業中に行われる小テストの結果、かつTOEIC IPテストでの実績を総合的に加味する。【その他】:忘れ物や欠席や遅刻早退はその回数に応じて減点する。講義内容は事情に応じて変更あり。【評価項目(評価の方法)】:TOEICIPスコア40%、平常点(出席率、授業態度や課題達成率)30%、授業中に行う小テストや復習テストなど30% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分)　(2)PRACTICE TEST 1 リスニング演習 Part1 およびPart2	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明　(2)Part1 写真描写問題の演習　Part2 応答問題の演習	講義内容、TOEICの理解　各自のTOEIC到達目標点を設定できる 写真描写問題および応答問題のポイントを理解できる	傾聴力、計画性、主体性	【授業運営方法】:講師が授業内容の説明を行う。その後は教科書を使用しながら、演習問題を行う。		
2	PRACTICE TEST 1 Reading part 5 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および5における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、規律性	【授業運営方法】:教科書を使用しながら、演習問題に数多く取り組む。可能な場面ではアクティブラーニングを採用し、グループもしくはペアでの学習も進める。		
3	PRACTICE TEST 1 Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを習得したうえで、各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
4	PRACTICE TEST 1 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
5	PRACTICE TEST 1 Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
6	PRACTICE TEST 1 Reading part 7	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		

7	PRACTICE TEST 2　Reading part 5 Listening part 1&2	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part1＆2の問題演習	必要な語彙やパート1、2および5における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
8	PRACTICE TEST 2　Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
9	PRACTICE TEST 2　Reading part 7 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
10	PRACTICE TEST 2　Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
11	PRACTICE TEST 2　Reading part 7 Listening part 4	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part4の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート4および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
12	PRACTICE TEST 3　Reading part 5 Listening part 1&2	前回の復習・小テスト Reading part 5の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part1＆2の問題演習	必要な語彙やパート1、2および5における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
13	PRACTICE TEST 3　Reading part 6 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 6の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および6における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
14	PRACTICE TEST 3　Reading part 7 Listening part 3	前回の復習・小テスト Reading part 7の問題をグループ学習した後、各自問題演習　Listening part3の内容を復習した後、各自問題演習	必要な語彙やパート3および7における解法のポイントを習得したうえで、 各自設定した目標点数を制限時間内で達成できる	〃	〃		
15	これまでのまとめ（復習：実践問題） Reading part 7　Listening part 4	これまでに学んだ内容を実践問題を通して復習確認する	これまでの学習内容を最大限に活用して問題演習を行い、今後に向けた自分の課題を知ることができる	主体性、実行力、課題発見力、集中力	問題演習を中心に行う		

22後期_英語系2年_TOEIC対策_L2_野田あゆみ_実務家.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
2年次は更なるスコアアップを目指す。1年次に習得したビジネス知識や、出題形式への理解を含めて、更に、リスニング・文法・読解の全分野にわたり、実践的形式で行う。特に、強化した語彙力と基礎文法力をもとに、時間をかけずに解くべき問題が素早く正確に解ける技術の強化を図る。また、限られた時間内で正確に解く意識を授業内でも高めるようにし、タイムマネージメント能力も養う。	THE TOEIC TEST TRAINER TARGET 470、プリント教材	《実務経験のある教員による授業科目》ホテル業界での勤務経験のある教員が担当。TOEICによく出る文法事項の確認、授業内で単語テストを行い、頻出単語を覚える。リスニング問題の先読みをし問題を解く。また限られた時間内で素早く正確に解くことができるよう、毎回の授業でトレーニングを行っていく。文法事項の定着のため、自分たちで問題の解説を試みる。(アクティブラーニング)	**【専門知識スキル】**:文法問題の解き方を覚え、またリスニングの聞き取るポイントを押さえ、時間内に素早く問題を解くことができる。400点以上獲得できる必要な語彙力、リスニング力、文法力、読解力が身につく。 **【社会人基礎力】**:主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【受講ルール等】:積極的に授業に取り組む。【評価の観点】:・出席率、授業態度、グループワークへの積極的な取り組みを重視し、かつ単語テスト、TOEIC公開テストおよびIPテストでの実績も加味する。【その他】:単語テストは、授業開始時のみ実施。遅刻者や欠席者への振替は行わず、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。【評価項目(評価の方法)】:出席率ー20% 授業への取り組み－20% 単語テストー20% TOEICスコアー40% 対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。 進捗状況により内容変更の可能性があります。

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) TOEICの基礎知識と攻略法の確認 (3)Unit 7 vocabulary	TOEICテストのパートごとの基礎知識と攻略法の確認。Unit 7 P72のvocabulary の暗記	TOEICテストの基礎知識と攻略法。Unit 7 に出てくる単語を覚える。	主体性、働きかけ力、実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、状況判断力、規律性。	【授業運営方法】:テキストの問題を解き、英文の音読、会話練習やアクティブラーニングを行う。授業開始時に単語テストを実施。	授業時に提示	
2	Unit 7 確認ー分詞	単語テスト。付加疑問文に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に確認する表現とその応答表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	単語テスト	
3	〃	単語テスト。分詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る分詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
4	Unit 8 留守電ースキャニング	単語テスト。留守電に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。留守電の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
5	〃	単語テスト。スキャニングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキャニングを練習し、ダブルパッセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
6	Unit 9 アドバイスー受動態	単語テスト。アドバイスをする表現のリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。アドバイスを求めたり、与えたりする表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
7	〃	単語テスト。受動態に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る受動態の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	

8	Unit 10 誘いー比較	単語テスト。誘いの表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手を誘う時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
9	〃	単語テスト。比較に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る比較の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
10	Unit 11 申し出ー関係詞	単語テスト。何かを勧める際の表現を含むリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。相手に丁寧に申し出る時の表現を覚え、該当問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
11	〃	単語テスト。関係詞に関するリーディングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。Part 5、6でよく出る関係詞の知識を習得し、該当問題を素早く解くことができる。	〃	〃	〃	
12	Unit 12 講演者ースキミング	単語テスト。講演に関するリスニングの問題を解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。講演時にで使われる表現を覚え、内容の構造を理解し、聞き取るポイントを押さえ、該当問題を解くこと	〃	〃	〃	
13	〃	単語テスト。スキミングの方法でリーディングの問題を素早く解く。	頻出単語を覚え、語彙力強化できる。スキミングを練習し、トリプルパッセージを時間内に素早く読み、問題を解くことができる。	〃	〃	〃	
14	Post Test Listening	Post Test Listening	これまでの学習の復習を兼ね、本試験と同様のミニ試験を解き、自信の学習成果を確かめ、課題を見つけることができる。	〃	〃	〃	
15	Post Test Reading	Post Test Reading	〃	〃	〃		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考
通訳に必要な知識とスキルを身につける。業界ニーズを熟知した講師の指導のもと、本科目では、日常的なシーンの通訳を通訳訓練を通して習得する。 さらに、通訳案内士試験対策をする。	プリント教材と英語リプロダクショントレーニング	《実務経験のある教員による授業科目》通訳・翻訳業界での勤務経験のある教員が担当。基本的通訳技術を習得する。当授業ではシャドーイング、リプロダクション、リピーティングをできるようにする。 ノートテイキングについての基礎を学び英日訳が実用レベルで使えるようにする。また、日英訳については平易な文章を実用レベルで活用できるようにする。	【専門知識スキル】:シャドーイング、リピーティングが容易に出来る。メモ取りをして通訳ができる。情報を整理しまとめられるようになる 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。主体的に行動し、各自に発信しながら、テーマの課題について問題点を見出す能力を身につける。	【受講ルール等】:資料配布物は整理整頓し自己管理とする。 課題の提出は必ず期限内提出とする。 【評価の観点】:・英日、日英の通訳ができているか。・メモ取りに対して正確に訳すことができているか。・文章が正しく理解ができているか。 【その他】:ペアワーク及び、3-4人のグループワークも適宜取り入れ実施。 【評価項目(評価の方法)】:積極的授業参加度-40%、 通訳発表－40%、期末テスト－20% なお、欠席・遅刻・早退はその回数に応じて減点をおこなう。 **対面授業とオンライン授業を並行する可能性があります。** **進捗状況により内容変更の可能性があります。**

実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ﾀｰｹﾞｯﾄ社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・ｷｰﾜｰﾄﾞ(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) (2) 通訳を行う為の基本訓練についての紹介	通訳訓練の基本4方法を説明	通訳基本訓練の理解 英日→日英の単文訳ができるようになる事	基本作業の実践	【授業運営方法】:通訳訓練はペアプラックティスしながら進める。 サイトトランスレーションについては個人で行う。 リプロダクションで理解度チェックができるようにする。	授業中に指示をする	
2	(1)シャドウイングについて (2)リスニングの伸ばし方について	「講義」と「教えあい」で知識の定着)説明・発音チェック	シャドウイングの理解、・リスニングのコツの理解。 声を出して速読ができるようになる	主体性、働きかけ力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	〃	
3	シャドウイングとｸｯｲｯｸレスポンス	応用記事でシャドウイングを徹底訓練	単語レベルのクイックレスポンスが出来るようになる	積極性	〃	〃	
4	シャドウイングとｸｯｲｯｸレスポンス	平易な内容を利用して文章のクイックレスポンス、	単語レベルから文章のｸｨｯｸレスポンス出来るようにする	主体性	〃	〃	
5	ｸｨｯｸレスポンス(単語から文章へ)	平易な文章を利用して文章のクウィックレスポンス	リテンションの練習をして、出来るだけ長い文章をリピート出来るようにする	自主性	〃	〃	
6	リピーティングの為のリスニング強化	平易な文章のリピーティングを徹底練習、	日本語から英語に、英語から日本語にリピート出来るようにする	発進力	〃	〃	
7	メモ取りの基礎練習	メモ取り、略語作成の基礎を学ぶ	英語を聞き取りながら内容をメモ化し、日本語に再生出来るようにする	発進力	〃	〃	
8	メモ取りの基礎練習 2	意味のまとまりごとにスラッシュを入れ、頭ごなしに訳していく	頭ごなしの英日訳が出来るようになる	持久力	〃	〃	

9	メモ取りの基礎練習3	〃	意味の固まりで頭ごなしに読む	柔軟性	〃	〃	
10	スラッシュリーディング(1)	意味のまとまりごとにスラッシュを入れ、頭ごなしに訳していく	頭ごなしの英日訳が出来るようになる	想像力	〃	〃	
11	スラッシュリーディング(2)	〃	意味の固まりで頭ごなしに読む	想像力	〃	〃	
12	ノートテーキング(1)	文章をメモ化して、訳す	文章をメモ化して、日本語に再生出来るようにする	積極性	〃	〃	
13	ノートテーキング(2)	メモ化しスピーチの訳出	スピーチの単文訳が出来るようになる	実行力	〃	〃	
14	スピーチ訳、実践	メモ化しスピーチの訳出	通訳の実体験	ストレスコントロール	〃	〃	
15	総復習と筆記によるテスト		総復習と筆記によるテスト		筆記テスト		